

2020年3月18日 全7頁

Indicators Update

2020年2月貿易統計

輸出数量は2ヶ月ぶりに増加、新型コロナの影響は3月から

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎
シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2020年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲1.0%と減少したもののコンセンサス（同▲4.2%）を上回った。季節調整値で見ると、前月比+3.4%と2ヶ月ぶりに増加した。
- 輸入金額は前年比▲14.0%と数量の大幅な減少を背景に10ヶ月連続で前年割れとなった。季節調整値で見ても前月比▲6.1%と7ヶ月連続で減少した。減少の要因は、新型コロナ感染拡大によって、中国からの輸入が半減したことに加え、2月下旬から始まった国内での経済活動自粛の影響もあったとみられる。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+4.3%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同+5.4%）、アジア向け（同+4.8%）は増加し、EU向けは横ばいであった。2月までは新型コロナ感染者の増加は特に中国で見られたため、中国向け以外への輸出における新型コロナの影響は軽微であったとみられる。アジア向けは春節の時期のずれによって増加した可能性もある。1-2月を均して19年10-12月対比で見ると、▲5.2%と減少基調が続いている。
- 先行きの輸出数量は、当面は新型コロナの影響によって減少が見込まれる。2月の輸出では、新型コロナの影響が表れていないものの、3月以降は各国向けとも顕在化するだろう。足元では、欧州や米国において感染者数が急増しており、経済活動の自粛によって最終需要が消失することによって輸出が落ち込むことも想定される。

【貿易金額】中国からの輸入が半減し、輸入金額は大幅に減少

2020年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲1.0%と減少したもののコンセンサス(同▲4.2%)を上回った。季節調整値で見ると、前月比+3.4%と2ヶ月ぶりに増加した。輸出金額は数量の減少を主因として、18年半ばから減少基調が続いていたが、下げ止まりの兆しが見られる。ただし、新型コロナの影響が3月から表れる可能性が高いため、当面は減少基調が続くだろう。

他方、輸入金額は前年比▲14.0%と数量の大幅な減少を背景に10ヶ月連続で前年割れとなった。季節調整値で見ても前月比▲6.1%と7ヶ月連続で減少した。減少の要因は、新型コロナ感染拡大によって、中国からの輸入が半減したことに加え、2月下旬から始まった国内での経済活動自粛の影響もあったとみられる。中国の春節休暇は当初、1月24～30日であったが、2月2日まで延長され、その後も多くの企業では同月9日まで休暇を延長した。10日以降に工場を再開した企業も稼働率を下げているケースが見られており、供給制約によって落ち込んだようだ。品目別に見ると、衣類・同付属品や電算機類(含周辺機器)、同部分品などが減少に寄与した。

図表1：貿易統計の概況

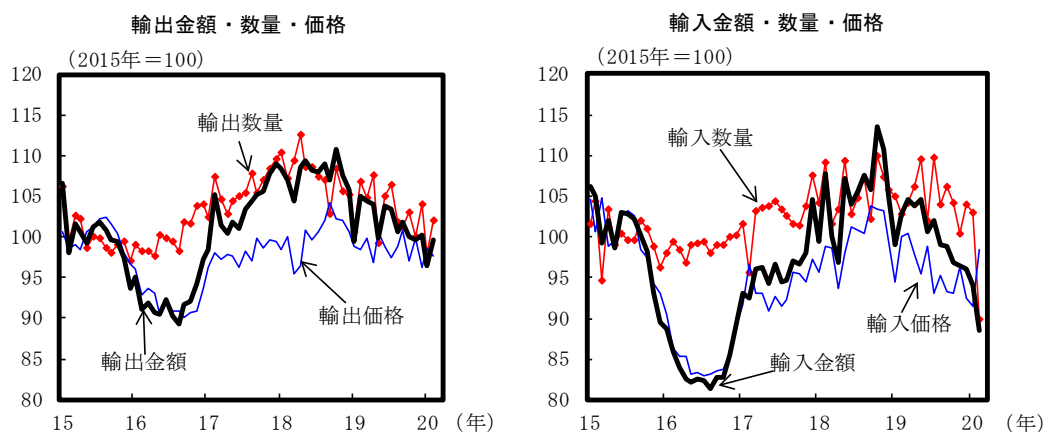
		2019年							2020年	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0
	コンセンサス									▲4.2
	DIRエコノミスト予想									▲2.5
	輸入金額	▲5.2	▲1.1	▲11.8	▲1.4	▲14.7	▲15.6	▲4.8	▲3.6	▲14.0
	輸出数量	▲5.5	1.4	▲5.9	▲2.3	▲4.4	▲5.0	▲1.9	▲1.6	▲2.4
	価格	▲1.2	▲2.9	▲2.4	▲2.9	▲5.0	▲3.1	▲4.6	▲1.0	1.5
	輸入数量	▲3.2	6.6	▲6.1	6.7	▲6.1	▲8.1	1.2	▲1.7	▲17.3
価格	▲2.1	▲7.3	▲6.1	▲7.7	▲9.2	▲8.2	▲6.0	▲2.0	4.1	
	貿易収支(億円)	5,881	▲2,539	▲1,522	▲1,291	112	▲884	▲1,591	▲13,132	11,098
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	4.0	▲0.3	▲2.7	1.3	▲1.9	▲0.3	0.5	▲3.8	3.4
	数量	5.8	1.3	▲4.2	▲0.5	1.8	▲2.9	4.0	▲6.0	4.3
	価格	▲1.7	▲1.6	1.6	1.9	▲3.6	2.7	▲3.4	2.3	▲0.9
	輸入金額	▲3.7	1.5	▲2.9	▲0.2	▲2.1	▲0.2	▲0.4	▲2.1	▲6.1
	数量	▲6.9	7.7	▲5.3	2.1	▲1.9	▲3.6	3.6	▲0.8	▲12.8
	価格	3.4	▲5.8	2.4	▲2.3	▲0.2	3.5	▲3.9	▲1.2	7.7
		貿易収支(億円)	▲337	▲1,523	▲1,336	▲366	▲202	▲253	334	▲787
	税関長公示レート	109.05	108.00	107.21	106.69	107.77	108.76	108.95	109.30	109.50

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格(季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】2ヶ月ぶりに増加、新型コロナの影響は3月から

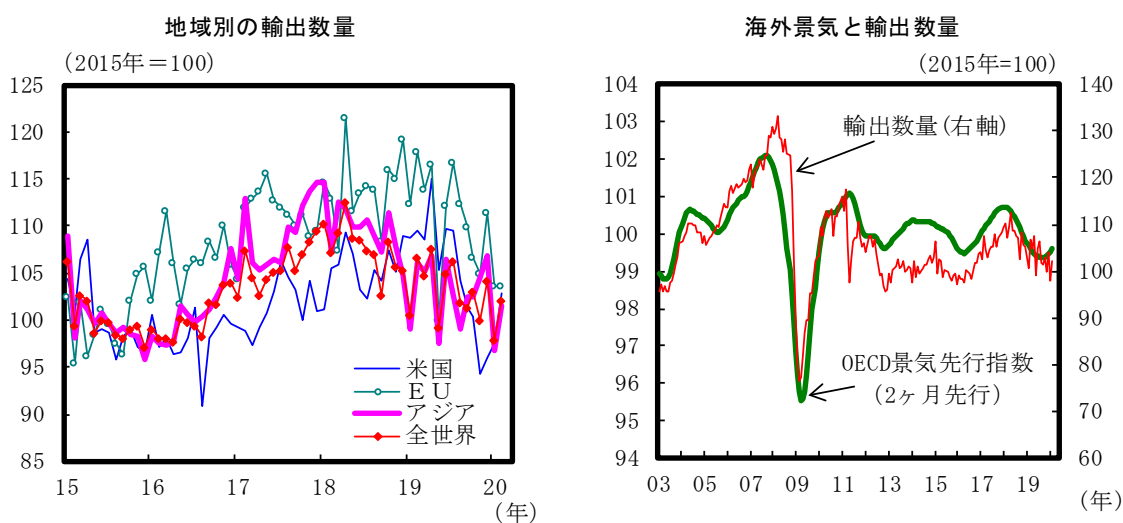
2月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+4.3%と2ヶ月ぶりに増加した。地域別に見ると、米国向け（同+5.4%）、アジア向け（同+4.8%）は増加し、EU向けは横ばいであった。2月までは新型コロナ感染者の増加は特に中国で見られたため、中国向け以外への輸出における新型コロナの影響は軽微であったとみられる。アジア向けは春節の時期ずれによって、前月が押し下げられており、反動で増加した可能性もある。1-2月を均して19年10-12月対比で見ると、▲5.2%と減少基調が続いている。

地域別・品目別に2月の動きを見ると、米国向けは自動車の部分品や電算機類（含周辺機器）、原動機などが増加した。自動車の部分品は19年初から10月まで減少基調にあったが、10月を底に緩やかに増加している。

アジア向けは、鉄鋼や非鉄金属などの素材が全体を押し上げた。また、これまで堅調であった半導体等電子部品やICについても堅調さを維持している。

EU向けでは、化学製品などが押し上げに寄与したものの、電算機類や乗用車などがマイナスに寄与した。乗用車は19年7月以降減少基調にあり、1月には一段と水準が低下し、2月はさらに低下した。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】輸出数量は新型コロナの影響拡大によって減少

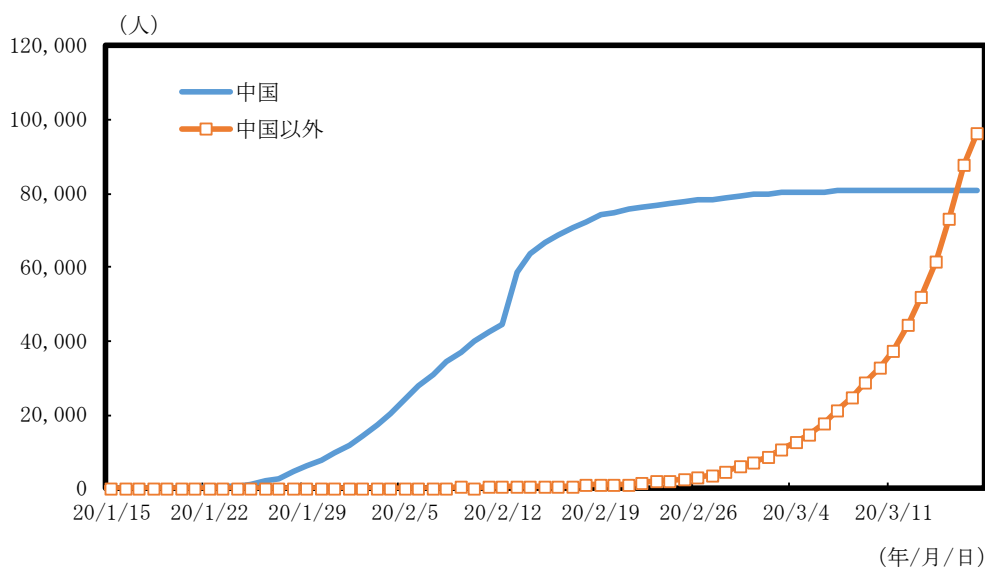
先行きの輸出数量は、当面は新型コロナの影響によって減少が見込まれる。2月の輸出では、新型コロナの影響が表れていないものの、3月以降は各国向けとも顕在化するだろう。足元では、欧州や米国において感染者数が急増しており、経済活動の自粛によって最終需要が消失することによって輸出が落ち込むことも想定される。

地域別に見ると、アジア向けは新型コロナの影響を受け、3月は減少することが見込まれる。中国の感染者の増加ペースは鈍化しているものの、中国以外の国では感染が拡大している。輸出に与える影響がどの程度続くのか見通せない状況が続いているが、早期終息に向かえばペントアップディマンドが生じ、輸出も回復に向かうだろう。アジア向けの輸出は相対的に半導体等電子部品のウエイトが大きい。同品目は18年の後半から始まったグローバルな在庫調整が一巡していることなどを背景に底打ちの兆しが見られていた。世界の半導体販売額の底入れに伴い、アジア向けの半導体等電子部品の輸出が全体を押し上げる要因となろう。ただし、新型コロナの影響によってサプライチェーンの混乱が長期化するようであれば、この回復シナリオも後ずれすることとなろう。

EU・英国向けは、減少基調が続くだろう。足元で欧州内における新型コロナ感染者は、イタリアを中心に急増している。各国では、イタリアのように感染拡大を防ぐために経済活動を停止する動きが見られ始めており、輸出の減少も避けられないだろう。

米国向けも新型コロナの影響拡大によって減少することが見込まれる。CDCは3月15日、50人以上が集まるイベントについて8週間の自粛を勧告した。翌16日にはトランプ大統領が、通勤・通学、外食などの自粛を求めた。こうした経済活動の自粛から米国向けの消費財輸出の減少は避けられないだろう。一方、経済対策として給与税の減税や現金給付などが検討されており、こうした大型の経済対策によって消費が喚起されれば、輸出の減少を和らげる可能性がある。

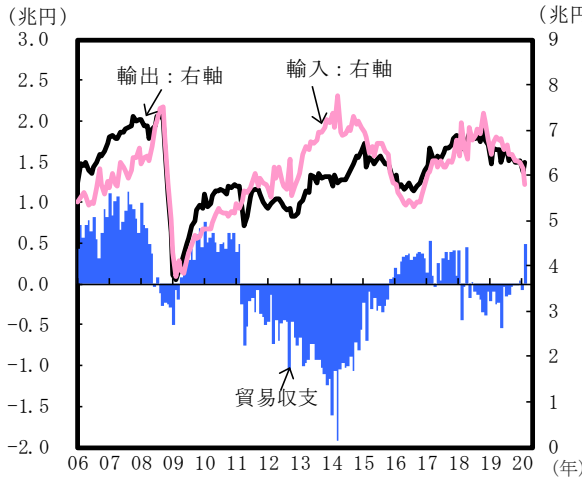
図表4：新型コロナウイルス感染者数



(出所) 中国国家衛生健康委員会、WHO資料より大和総研作成

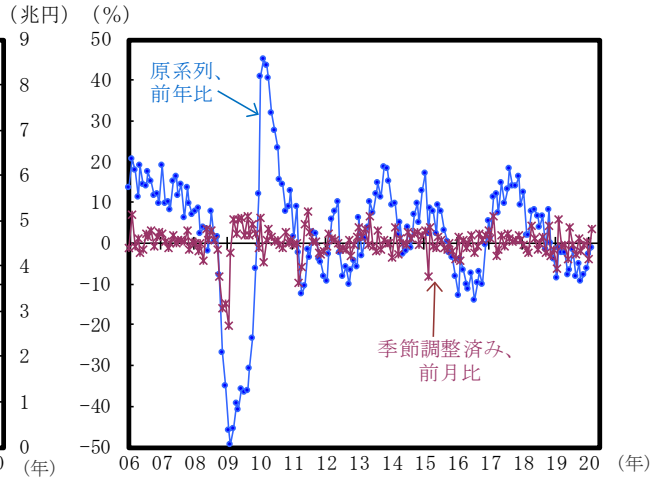
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

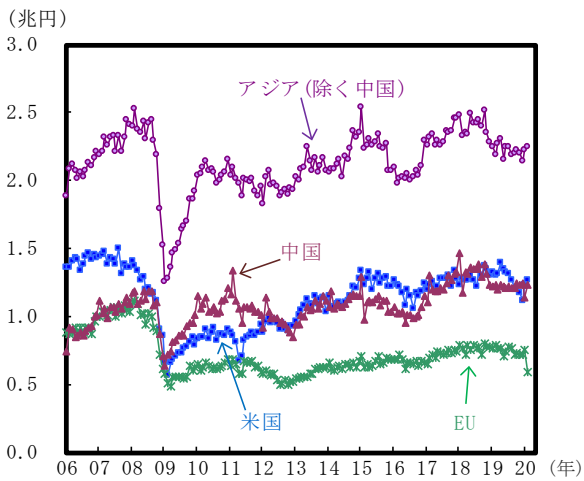


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

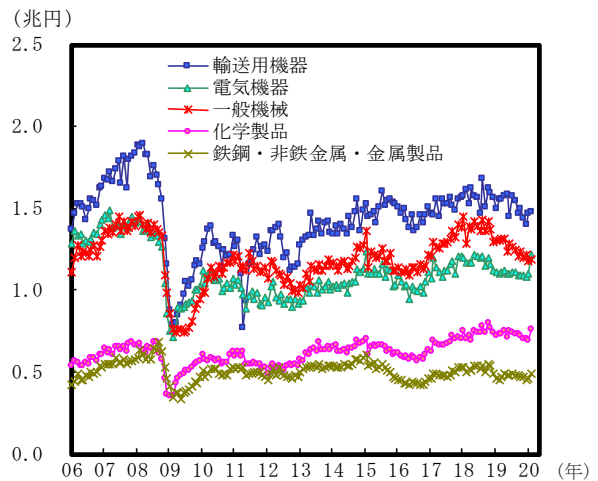


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

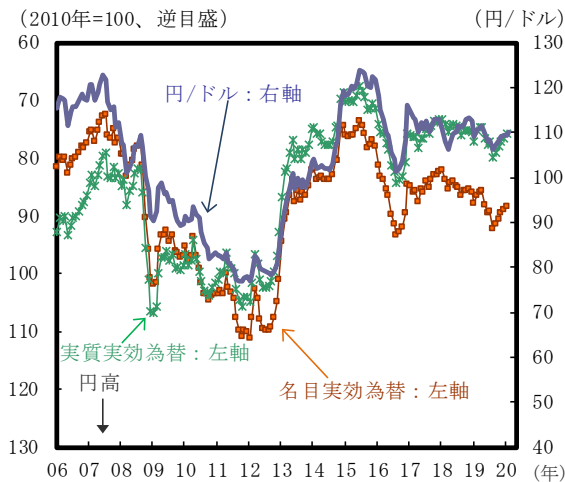


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

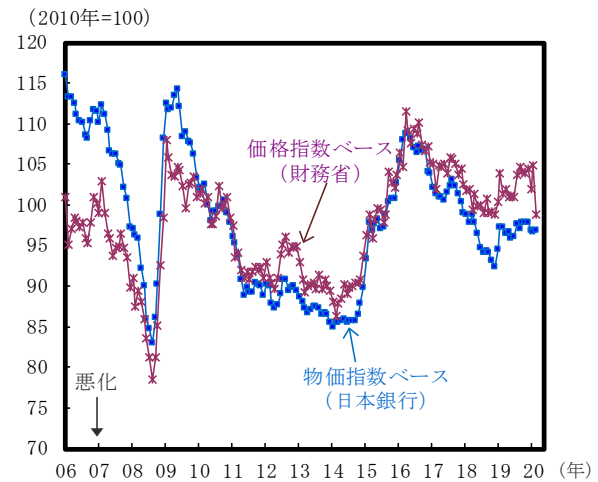


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数(輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	▲1.0	100.0	▲1.0
食料品	▲5.3	▲5.1	1.2	1.9	▲5.5	▲0.8	0.9	▲0.0
原料品	▲11.0	▲16.6	▲15.6	▲17.2	10.9	7.9	1.5	0.1
鉱物性燃料	▲16.3	14.0	10.0	▲9.1	▲5.1	▲17.1	1.6	▲0.3
化学製品	▲2.1	▲9.7	▲7.4	▲4.8	▲4.5	3.4	11.5	0.4
原料別製品	▲3.8	▲13.4	▲11.1	▲9.1	▲1.9	4.1	11.1	0.4
鉄鋼	▲0.4	▲16.7	▲18.2	▲13.3	▲4.0	8.9	4.0	0.3
非鉄金属	▲2.7	▲10.7	▲0.3	1.4	14.1	22.0	2.1	0.4
金属製品	▲9.1	▲13.7	▲7.9	▲10.1	▲3.2	▲3.5	1.5	▲0.1
一般機械	▲11.2	▲12.9	▲12.0	▲6.2	▲9.5	▲8.8	19.2	▲1.8
電気機器	▲4.7	▲8.3	▲5.4	▲3.3	▲1.1	9.8	17.3	1.5
半導体等電子部品	4.0	0.6	▲0.3	2.6	1.4	23.2	5.2	1.0
I C	9.1	3.6	▲1.3	3.9	4.3	21.4	3.5	0.6
映像機器	▲11.9	▲9.8	▲13.0	▲17.5	▲6.7			
映像記録・再生機器	▲14.8	▲8.8	▲12.6	▲14.8	▲2.5	4.9	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	▲15.1	▲19.3	▲13.8	▲3.1	▲14.7	7.1	0.3	0.0
電気回路等の機器	▲12.8	▲13.6	▲11.7	▲5.6	▲1.1	5.0	2.4	0.1
輸送用機器	▲2.7	▲7.4	▲9.7	▲10.7	▲2.1	▲4.1	23.8	▲1.0
自動車	▲1.9	▲9.6	▲7.0	▲11.8	▲4.7	▲4.0	15.7	▲0.6
自動車の部分品	▲14.7	▲11.3	▲8.8	▲10.9	▲4.2	▲3.6	4.6	▲0.2
その他	▲2.3	▲6.3	▲1.5	▲0.8	5.8	▲1.9	13.1	▲0.3
科学光学機器	▲10.8	▲10.9	▲4.1	2.1	0.1	6.4	2.7	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.9	▲11.4	▲12.9	▲14.9	▲7.7	▲2.6	100.0	▲2.6
食料品	0.9	4.9	▲4.7	▲4.7	▲9.8	18.9	0.8	0.1
原料品	28.4	▲8.8	34.2	0.4	70.3	41.5	0.8	0.2
鉱物性燃料	157.2	1397.4	▲21.1	▲12.0	▲9.8	21.6	0.6	0.1
化学製品	0.2	▲5.3	4.2	▲13.7	▲6.8	11.9	7.7	0.8
原料別製品	▲2.0	▲8.7	▲2.9	▲10.6	▲4.9	▲0.6	6.2	▲0.0
鉄鋼	13.3	▲19.7	▲23.1	▲25.1	▲34.7	▲21.4	1.0	▲0.3
非鉄金属	21.0	▲5.9	9.8	▲18.6	20.4	29.6	0.8	0.2
金属製品	▲11.9	▲3.9	13.1	10.1	19.7	1.1	1.6	0.0
一般機械	▲5.9	▲4.8	▲14.1	▲10.3	▲9.0	▲5.6	23.3	▲1.3
電気機器	▲7.7	▲15.9	▲10.1	▲12.6	▲2.6	8.6	14.0	1.1
半導体等電子部品	▲11.1	▲11.7	▲17.5	▲15.0	▲7.8	▲6.5	1.4	▲0.1
I C	▲16.5	▲10.9	▲18.3	▲16.9	▲3.1	▲12.0	0.6	▲0.1
映像機器	▲7.9	▲4.9	11.1	▲8.0	6.8			
映像記録・再生機器	▲11.6	▲9.7	10.0	▲4.9	8.5	16.9	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	▲7.5	▲26.1	▲16.5	▲30.5	▲26.5	12.1	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲10.2	▲13.1	▲14.2	▲14.3	▲5.0	3.5	1.5	0.0
輸送用機器	▲14.8	▲17.1	▲16.9	▲20.0	▲14.9	▲7.9	36.3	▲3.1
自動車	▲15.7	▲17.7	▲17.1	▲21.4	▲18.5	▲9.2	27.3	▲2.7
自動車の部分品	▲16.2	▲12.9	▲18.9	▲20.4	1.4	2.9	5.8	0.2
その他	▲0.8	▲13.8	▲15.4	▲13.0	13.5	▲4.4	10.2	▲0.5
科学光学機器	2.7	▲10.7	▲10.2	▲14.1	5.9	1.3	2.2	0.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.5	▲8.4	▲8.0	▲8.1	▲1.8	▲23.9	100.0	▲23.9
食料品	23.9	▲13.6	▲11.3	4.3	26.1	▲16.5	0.5	▲0.1
原料品	▲14.2	▲7.3	▲9.1	▲2.8	▲16.1	▲17.2	1.0	▲0.2
鉱物性燃料	12.1	▲52.8	43.3	64.1	▲92.1	▲69.0	0.2	▲0.4
化学製品	5.8	0.1	▲5.6	▲7.5	15.3	▲0.0	11.5	▲0.0
原料別製品	▲6.0	▲14.6	▲12.9	▲9.6	▲11.9	▲16.6	6.4	▲1.0
鉄鋼	4.2	▲29.7	▲6.7	30.7	▲43.4	▲2.0	0.9	▲0.0
非鉄金属	▲9.5	▲10.9	▲18.8	▲4.4	21.2	▲31.7	0.6	▲0.2
金属製品	▲5.8	▲8.1	▲14.8	▲29.1	▲11.8	▲21.1	1.4	▲0.3
一般機械	▲15.1	▲20.3	▲19.9	▲16.9	▲16.1	▲27.1	22.6	▲6.4
電気機器	▲7.6	▲14.5	▲11.0	▲9.8	▲6.7	▲19.3	17.6	▲3.2
半導体等電子部品	▲11.4	▲14.0	▲7.7	▲7.3	▲5.6	▲0.4	2.3	▲0.0
I C	▲17.6	▲19.0	▲12.5	▲12.7	▲19.9	▲10.5	1.0	▲0.1
映像機器	▲10.3	▲12.0	▲33.0	▲19.8	▲18.5			
映像記録・再生機器	▲17.9	▲12.1	▲34.6	▲15.9	▲19.7	4.5	0.8	0.0
音響・映像機器の部分品	34.3	6.8	25.6	21.9	▲1.6	0.7	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲15.7	▲26.4	▲19.7	▲11.3	▲13.4	▲23.5	1.6	▲0.4
輸送用機器	21.3	5.8	9.2	▲5.2	▲4.3	▲26.0	26.5	▲7.1
自動車	41.5	12.8	11.7	▲4.4	▲15.8	▲28.6	16.0	▲4.9
自動車の部分品	▲4.9	▲5.2	16.9	▲3.5	▲1.4	▲13.0	6.6	▲0.8
その他	▲2.0	▲5.0	▲13.5	2.7	28.7	▲35.2	13.8	▲5.7
科学光学機器	▲4.1	▲15.2	▲9.2	▲8.6	▲4.7	▲0.7	3.7	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.8	▲11.2	▲5.7	▲3.6	▲3.2	1.7	100.0	1.7
食料品	▲8.4	▲6.1	2.0	3.2	▲7.8	▲5.0	1.2	▲0.1
原料品	▲15.0	▲19.3	▲20.7	▲20.1	8.9	3.9	2.2	0.1
鉱物性燃料	▲32.2	▲15.2	11.0	▲10.1	28.6	9.6	1.9	0.2
化学製品	▲4.1	▲12.0	▲8.8	▲2.7	▲7.8	0.2	15.3	0.0
原料別製品	▲7.4	▲15.1	▲13.6	▲10.1	▲3.9	4.1	14.2	0.6
鉄鋼	▲7.9	▲18.4	▲20.5	▲16.0	▲6.8	7.0	5.5	0.4
非鉄金属	▲7.3	▲13.6	▲5.5	0.0	9.9	20.1	3.3	0.6
金属製品	▲7.5	▲13.2	▲9.6	▲10.7	▲8.9	▲3.5	1.6	▲0.1
一般機械	▲12.9	▲13.0	▲6.9	0.1	▲6.3	▲8.9	19.0	▲1.9
電気機器	▲4.1	▲6.4	▲3.9	▲1.3	▲0.0	14.8	21.6	2.8
半導体等電子部品	5.9	1.7	1.0	4.3	2.2	26.9	8.7	1.9
I C	11.2	4.9	▲0.4	5.3	5.3	24.3	6.2	1.2
映像機器	▲22.2	▲12.3	▲23.1	▲27.0	▲13.3			
映像記録・再生機器	▲17.1	▲6.5	▲15.1	▲18.3	▲1.3	▲5.2	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲19.0	▲18.4	▲14.9	2.7	▲9.8	8.5	0.4	0.0
電気回路等の機器	▲13.1	▲13.1	▲10.1	▲4.8	1.4	8.5	3.3	0.3
輸送用機器	▲3.9	▲15.0	▲4.8	▲15.7	▲3.6	2.3	9.5	0.2
自動車	1.0	▲15.9	▲1.0	▲4.3	7.0	7.8	4.8	0.4
自動車の部分品	▲22.1	▲16.1	▲11.7	▲13.7	▲12.6	▲6.8	3.4	▲0.3
その他	▲8.5	▲7.8	3.1	4.0	▲3.5	▲1.6	15.1	▲0.3
科学光学機器	▲14.3	▲9.8	▲0.5	8.8	▲0.4	8.5	3.3	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01	2020/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.7	▲10.4	▲5.4	0.8	▲6.4	▲0.4	100.0	▲0.4
食料品	28.0	16.7	27.8	28.4	0.4	▲17.0	0.6	▲0.1
原料品	▲45.3	▲52.4	▲57.8	▲52.8	▲3.2	▲24.4	1.4	▲0.4
鉱物性燃料	▲46.7	10.2	▲49.4	▲44.5	▲30.5	▲34.0	0.8	▲0.4
化学製品	4.3	▲6.6	▲4.5	2.4	▲8.9	▲1.6	17.3	▲0.3
原料別製品	▲4.5	▲8.1	▲2.8	▲0.1	▲8.4	▲1.8	11.7	▲0.2
鉄鋼	▲9.9	▲17.6	▲13.3	▲1.4	▲0.9	3.6	3.6	0.1
非鉄金属	10.9	9.4	22.2	9.7	▲9.7	▲1.9	2.8	▲0.1
金属製品	▲3.5	▲6.2	▲0.6	▲3.3	▲15.8	▲8.1	1.7	▲0.2
一般機械	▲18.0	▲13.4	▲6.1	7.6	▲3.5	▲13.3	22.6	▲3.5
電気機器	▲2.3	▲9.6	▲6.5	▲3.4	▲5.6	17.1	21.4	3.1
半導体等電子部品	19.3	▲11.2	▲10.0	▲10.1	▲8.2	31.6	7.1	1.7
I C	27.9	▲13.6	▲17.2	▲17.1	▲10.0	26.5	4.8	1.0
映像機器	▲22.4	▲16.5	▲20.8	▲21.8	7.2			
映像記録・再生機器	▲14.2	▲4.2	▲5.8	▲6.0	39.9	8.4	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	2.6	▲10.6	▲5.9	14.5	▲23.9	11.4	0.6	0.1
電気回路等の機器	▲10.3	▲14.5	▲12.2	▲2.8	1.2	10.6	3.6	0.3
輸送用機器	▲10.7	▲14.4	5.4	9.7	5.8	12.3	11.0	1.2
自動車	16.4	▲7.4	34.4	36.3	32.0	28.5	6.1	1.4
自動車の部分品	▲31.6	▲21.1	▲16.4	▲11.5	▲17.8	▲4.4	4.6	▲0.2
その他	4.4	▲4.9	0.9	4.4	▲14.9	2.1	13.2	0.3
科学光学機器	▲10.6	▲12.6	▲0.4	14.9	▲2.6	6.0	4.9	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成